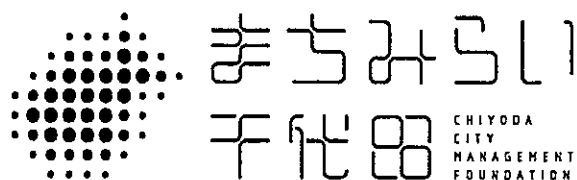


第4期 (平成28年6月1日~平成29年5月31日) 事業報告書



公益財団法人 まちみらい千代田

目 次

はじめに		1
第4期 事業報告書		
1 住宅まちづくり ～快適な都心居住に向けて～		2
2 産業まちづくり ～地域産業の振興に向けて～		28
3 協働まちづくり ～理解と協力のまちづくりにに向けて～		44
4 理事会・評議員会・監査		55

は じ め に

まちみらい千代田は、平成 26 年 1 月に公益認定を受け、昨年 6 月から第 4 期に入りました。

第 4 期においても【住宅まちづくり】【産業まちづくり】【協働まちづくり】の事業体系のもと、各事業に取り組みました。

【住宅まちづくり】

借上型区民住宅のうち、区単独型 6 棟計 93 戸が借上期間の満了を迎えたため、入居者及び建物所有者に対して必要な対応を行いました。

マンション関連施策では、新たに防犯カメラや簡易耐震診断に対する助成を始めたほか、防災計画等策定支援を推進する中、「エレベーター閉じ込め救出訓練」を試行しました。これは首都直下地震などの大規模地震が発生しエレベーターに人が閉じ込められ、外部の救援が期待できない万が一の場合に備え、居住者自らが救出を行うための訓練です。

【産業まちづくり】

「ビジネス法律相談」をより利用しやすいよう随時受付に変更した結果、相談件数が増加しました。

また、区の商工振興基本計画の改定作業を見据えつつ、これまで継続して実施してきた「千代田ビジネス大賞」等の中小企業支援事業や「ビジネス起業塾」について点検・検討を行い、その結果を第 5 期の事業計画に反映しました。

地方との連携においては、長野県や新潟県等の市町村に「市町村サテライトオフィス東京」や「ちよだフードバレーネットワーク」の PR を行った結果、それぞれ入居・加入団体の増加に繋げることができました。

【協働まちづくり】

前期に 3 年ぶりで再開した「まちづくりサポート事業」ですが、「テーマ部門」を区が設定した「ちよだマンションカフェ」としたほか、新たに(一社)民間都市開発推進機構の資金を活用した「普請部門」を設け募集したところ、全ての部門を合わせ 17 グループから応募がありました。また、事業運営については、今期から「(一社)ちよだまちづくりプラットフォーム」と協働して行うこととしました。

賛助会員への対応については、前期に行った事業報告会に加え、賛助会員同士の一層の交流が図られるよう配慮しました。

第 5 期も引き続き公益法人としての認識をしっかりと持ち、柔軟性と迅速性を生かした事業展開により、区民をはじめ中小企業者等の皆さんの期待に応えてまいります。

公益財団法人まちみらい千代田

住宅まちづくり ～快適な都心居住に向けて～

「暮らす」をテーマに、安全安心で住みやすい居住環境づくりのお手伝いをします

住宅まちづくり

- I マンション居住支援
 - 1 情報収集・発信
 - a) 総合相談窓口の設置 P3
 - b) マンション管理関係図書の貸出し P4
 - c) 情報紙の発行 P5
 - d) 管理会社との連絡会の開催 P6
 - e) マンション実態把握 P7
 - 2 管理・コミュニティ支援
 - a) 管理組合運営支援 P8
 - b) アドバイザーの派遣 P9
 - c) マンション管理セミナー・講座の開催 P10
 - d) マンション連絡会の開催 P11
 - e) マンション・カフェの開催 P12
 - f) マンション・コミュニティ構築支援(拡充) P13
 - g) コミュニティ・イベントへの参加(拡充) P14
 - 3 建物維持・整備支援
 - a) 劣化診断調査費助成(拡充) P15
 - b) 建替え等検討調査費助成 P16
 - c) 大規模修繕工事債務保証料助成 P17
 - d) 再開発・共同建築等推進組織に対する助成 P18
 - e) 安全・安心整備助成(拡充) P19
 - 4 防災対策促進支援
 - a) 防災計画等策定支援 P20
 - b) 防災用品等準備助成(拡充) P21
 - c) エレベータ閉込め救出訓練支援(新規) P22
- II 借上型区民住宅の管理運営
 - a) 区単独型住宅の管理運営 P26
 - b) 特優良型住宅の管理運営 P27

I マンション居住支援

1 情報収集・発信

a) 総合相談窓口の設置

□事業内容

マンションに関するさまざまな相談を、窓口・電話・電子メールなどで受け付け、その相談内容に応じて、まちみらい千代田が実施している助成制度や専門家の派遣などの支援策を活用しながら、課題の解決に向けたサポートを実施していきます。

また、マンションに関する国や東京都、関係団体等の動向、マンションの抱える様々な課題等について、指導・助言を行う顧問を委託します。

□事業規模

○窓口及び電話での相談受付

相談予定件数	第4期実績	達成率
200件	146件	73%

○マンション管理士が週5日間、平日9時から17時まで対応します。

○顧問は、マンション管理セミナー、マンション連絡会など他の事業やイベントへの参加・助言、作成資料等の監修、連絡調整等を担います。

[決算額] 5,253,120 円 (当初予算 5,317 千円)

[第4期実施状況]

広報紙への繰り返しの掲載など周知に努めましたが、昨年同期間の222件と比較し76件の減となりました。主な相談内容は、防災計画策定方法、建物の再生について、居住者間のトラブル、組合運営方法など多岐にわたります。

相談内容	管理組合	修繕関係	防災関係	※その他	計
窓口	19	9	1	4	33
電話	21	8	17	67	113
件数	40	17	18	71	146

※その他の主な内容は、各種助成制度の問合せ、建替等の簡易な初期相談など。

[評価等]

マンションのことは、いつでもまちみらい千代田に相談できることをさらに周知するためチラシを作り配付し、機会あるごとに説明するなどしていきます。

行政や類似の窓口でマンション管理士が常駐して相談態勢を執るのはあまり例がありません。今後、千代田区の地域特性による高経年マンションの再生等の相談が増えていくと想定されるため一層の相談業務の充実に努めていきます。

b) マンション管理関係図書の貸出し

□事業内容

マンションの管理等に関する書籍を購入し、マンション管理組合の役員等や総合相談窓口での相談者に対して、書籍貸出しサービスを実施します。

□事業規模

貸出し予定人数	第4期実績	達成率
20件	8件	40%

[決算額] 0円(当初予算 50千円)

[第4期実施状況]

マンションの管理等に係る図書を購入し、管理組合の役員の皆さん等を対象として、まちみらい千代田の窓口で図書の貸し出し業務を行っています。

従来からあるまちみらい千代田の蔵書のほか、国土交通省によるマンション標準管理規約の改正、既刊本の版の更新時期を見据えて、当初40冊ほど買い揃えました。

貸し出し図書の一覧表をチラシにして、マンション連絡会に案内するなど、周知に努めました。また、各図書の概要や、どのような問題に役立つかなどを整理して、ホームページ等で紹介しています。

[評価等]

マンション相談窓口等の来訪者による閲覧はありましたが、貸し出し自体はあまり多くはありませんでした。

期限までの図書返却による再訪の手間が一因と考えられますので、貸出期間や返還方法を柔軟に対応するなど、借りやすい環境づくりを検討するとともに、この事業の周知活動をさらに強化していきます。

また、引き続き既刊本の版の更新時期を見据え、図書を追加購入するとともに、千代田区のマンションにとってタイムリーな内容の図書を購入し利用者へ提供していくことでさらに魅力ある貸出コーナーにしていきます。

C) 情報紙の発行

□事業内容

①マンションサポートちよだ

マンションの維持管理やマンションでの生活に役立つ情報を提供する情報紙「マンションサポートちよだ」を定期的に発行し、分譲マンションの居住者、管理組合、関係機関へ配付します。

②マンションサポートちよだ mini

「マンションサポートちよだmini」は、マンションに関する国や東京都の動向をはじめ、首都圏での状況、マンションの管理運営方法などマンション全般にわたる情報を毎月提供しています。

③マンションへの情報提供

マンション住民に対する情報提供の手段の1つとして、区コミュニティ振興課と連携し、区・まちみらい千代田・関係団体からの情報を取りまとめ、チラシやお知らせなどを定期的にマンション管理組合へ送付します。

□事業規模

①マンションサポートちよだ

発行部数 10,000 部（うちマンション等への配付は約 8,000 部）
年 4 回発行（6 月、9 月、12 月、3 月）

②マンションサポートちよだmini

発行部数 500 部 年 12 回発行・A4 版 1 ページ（毎月 1 回）

③マンション管理組合への情報提供

年 12 回（毎月 1 回）送付 送付対象約 470 ケ所

発行項目	発行予定件数	第4期実績	達成率
①マンションサポートちよだ	4回	4回	100%
②マンションサポートちよだ mini	12回	12回	100%
③マンションへの情報提供	12回	12回	100%

[決算額] 4,742,367 円（当初予算 4,902 千円）

[第4期実施状況]

マンション居住者に役立つ記事の掲載など、読まれる紙面作成を行いました。「ヒートアイランド対策と屋上緑化」、「生活騒音と子育て支援」、「マンションと地域のコミュニティイベント」、「共用部の植栽管理」、「マンション保険」等、タイムリーな情報です。

情報紙配布は管理会社の協力を得て現在 105 棟に約 6 千部を戸別配布しています。戸別配布以外の約 340 棟には、各 5 部を配布し掲示や回覧等をお願いしています。

[評価等] 毎号の特集記事は時宜に応じたもので好評です。また、毎月の情報提供記事は速報性があり定評を得ています。マンション訪問やアンケート等で情報紙送付後の活用実態を把握し、戸別配布の協力が得られる管理組合及び管理会社を増やしていきます。

d) 管理会社との連絡会の開催

□事業目的

区内マンションの日常の管理を管理会社に委託している割合は、現在95%に上っています。

管理会社への情報提供が直接にマンションの管理組合や理事会へ伝わることから、管理会社と良好な関係を築いていくことが重要です。

また、区内マンションの実態を把握する上でも、管理会社の役割は大きいと言えます。そうした観点から、管理会社との連絡会を開催します。

□事業規模

平成29年2月23日に開催（約100社に出席依頼）

連絡会予定件数	第4期実績	達成率
1回（30社以上）	1回（10社参加）	100%（33.3%）

〔決算額〕 9,138 円（当初予算 17 千円）

〔第4期実施状況〕

前期まで、区やまちみらい千代田からの情報提供を中心とした連絡会を2回実施しましたが、管理会社の参加は多くありませんでした。

そのため今期は管理会社と、より有効な関係を築くため会議形式を座談会に変更して、マンションにおける「防災」や「コミュニティ」に関わる取り組みなどについて話し合う場として開催しました。

参加者の管理会社内での立場は、総務や営業担当から取締役まで様々です。それぞれの役割による違いから、議論の内容もまちまちになりました。

〔評価等〕

管理会社への開催連絡方法に電子メールを利用する等、より多くの管理会社に参加していただけるよう工夫したにも関わらず、参加社は増えませんでした。

今後は情報提供の場としての会議の他に、まちみらい千代田と連携・協力していただける意向のある管理会社と、具体的な取り組みやテーマについて継続的に話し合い、その課題解決に向けた方策や新たな事業展開を検討していきます。

e) マンション実態把握

□事業内容

これまで「千代田区分譲マンション実態調査」(平成26年3月)をもとに約3千棟の基本的な事項についての調査を実施した「千代田区共同住宅実態調査」(平成27年5月)の結果をマンションカルテとして作成するためデータ化及びシステム構築の委託を行いました。(平成28年3月)

第4期は上記調査期間終了後の新たな建設物件のデータを更新します。

□事業規模

調査委託	第4期実績	達成率
6月から12月	6月から3月	—

[決算額] 0円(当初予算 500千円)

[第4期実施状況]

第2期の結果をふまえ、第3期ではデータ調査を行ったものについて、建物外観などの情報が一覧表示できるように、データのシステム化を完了しました。

第4期では調査期間終了後の新たな建設物件のデータを更新したところ、区内の分譲マンションは第2期の調査時点から23棟増加し455棟でした。

[評価等]

データの更新後は、マンションカルテとして、新たな制度や事業展開を検討したり、区全体の状況把握が必要なときなどに活用していきます。

この調査によるマンションの棟数は、各種の施策や事業を検討するうえでの基礎になる数値として各方面で使われています。

2 管理・コミュニティ支援

a) 管理組合運営支援

□事業内容

マンション管理組合の通常総会や臨時総会を開催する際の会場費の一部を助成します。

①マンション防災計画を策定し、マンション連絡会に加入している管理組合に通常総会・臨時総会の会場使用料を上限 6,000 円まで支援します。

②マンション防災計画は未策定で、マンション連絡会加入の管理組合には、通常総会・臨時総会の会場使用料を上限 3,000 円まで支援します。

□事業規模

項目	助成予定件数	第4期実績	達成率
①	30件	8件	26.7%
②	40件	5件	12.5%

[決算額] 30,410 円（当初予算 300 千円）

[第4期実施状況]

隔月実施しているマンション連絡会での案内など周知に努めた結果、昨年の実績計7件のほぼ倍増になりましたが、達成率は全体で18.6%でした。

管理組合の総会を開催する際に、有料の外部会場を利用するよりも、マンションの集会室やエントランスを会場にする場合が多いため、申し込みが少ないものと考えられます。

[評価等]

助成を利用した管理組合からは、少額だが他の事へ有効に使えると好評です。定期的にこの助成事業を案内するなど、今後もさらに周知に努めていきます。また、他の支援策等、管理組合運営支援のあり方についても検討していきます。

b) アドバイザーの派遣

□事業内容

マンションの維持管理・修繕や建て替え・管理組合の運営といったマンションに関する様々な課題の解決や、共同建築や再開発の初動期における活動に対して、専門家による専門的・技術的な見地からアドバイスを受けることができるよう、まちみらい千代田に登録しているアドバイザーの中から、一級建築士・マンション管理士・再開発プランナー等の資格を持つ適切な人材を派遣します。(1 団体あたり派遣回数の上限は年間6回です)

□事業規模

共同化・再開発・建替に関する派遣4団体(12回)、
マンションの維持管理に関する派遣2団体(6回)を予定しています。

派遣項目	派遣予定件数	第4期実績	達成率
共同化・再開発・建替	4団体 12回	1団体 12回	25% 100%
マンション維持管理	2団体 6回	2団体 3回	100% 50%

[決算額] 240,000 円 (当初予算 270 千円)

[第4期実施状況]

アドバイザー派遣の内容は次のとおりです。

- ・沿道まちづくり再開発に関すること 1 団体 再開発プランナー派遣
 - ・マンション維持管理に関すること 2 団体 マンション管理士派遣
- 再開発プランナーのアドバイザー派遣は、現在も継続して支援中です。
維持管理に関しては、マンション管理士派遣により方向性が決まりました。

[評価等]

アドバイザー派遣を利用した団体からは、千代田区の外郭団体で公的なまちみらい千代田からの派遣であることの安心感や、自分たちだけでは判断できないようなことを適切に行うことができた等の高い評価を得ています。

今後も高経年マンションが多い千代田区の特徴から、建て替えや大規模修繕等についての相談が増え、アドバイザー派遣の需要の増加が見込まれます。

この制度の周知度を高めるため、広報紙、ホームページ等でこれまで以上にアドバイザー派遣の専門性や有用性の周知に努めていきます。

c) マンション管理セミナー・講座の開催

(1) マンション管理セミナー

□事業内容 マンション居住者を対象とし専門家によるセミナーを開催。

第4期は、マンションカフェ（別掲）と連携した内容を企画します。

(2) マンション管理講座

□事業内容 マンション管理組合の役員や、マンション居住者等を対象として基本編と応用編の2つの講座を実施します。

① 基本編 マンション管理の基本をテーマに、3回以内で実施。（実績は2回）

② 応用編 主にマンション管理組合の役員が対象です。個別のテーマを設定し、3回以内で実施します。（実績は2回）

[決算額] 365,177 円（当初予算 466 千円）

[第4期実施状況]

(1) マンション管理セミナーは、「家族の命を守るアウトドア流マンション防災」をテーマとして10月29日（土）区民ホールで開催しました。

第1部はアウトドア流防災ガイドの あんどう りす さんによる講演、第2部はマンション連絡会会員である管理組合役員4名と講師、まちみらい千代田顧問とによる「防災とマンションコミュニティ」をテーマとしたパネルディスカッションを行い、参加者数は約60名でした。

また、セミナー会場にはマンションカフェの各種事業を紹介したパネル展示やまちみらい千代田の賛助会員による防災に関する商品を展示しました。

(2) マンション管理講座は、①基本編38名②応用編58名の参加でした。

開催日(18:30~20:30)		参加	内 容
基 本	9月 7日(水)	20	知っておくべき管理組合運営のポイント
	11月16日(水)	18	マンションの修繕
応 用	1月25日(水)	29	大切なライフラインの維持管理
	3月15日(水)	29	マンション紛争事例

また、マンションカフェと連携した内容としては、講座開始前18時から30分間、受講者の有志10数名によるコミュニケーションタイムを設けて、各マンションが抱える課題などについて話し合い、区のコミュニティ総務課担当者も参加しました。主に建物と居住者の二つの老いが話題となりました。

[評価等] これまで管理セミナー参加者は関係者が多く、事業目的の区内マンション居住者や所有者の参加が少ないため、増加傾向の子育て世代をターゲットとしましたが、開催日に他の行事と重なり例年同様となりました。第5期は制度創設百周年の民生委員協議会と連携した内容を検討します。参加者に大好評の管理講座は引き続き、管理組合運営、修繕などをテーマに開催します。

d) マンション連絡会

□事業内容

千代田区マンション連絡会は、区内マンション管理組合の理事長を会員として構成されています。

隔月に開催する情報交換会では、まちみらい千代田や千代田区からの情報提供のほか、マンション管理組合の皆さんによる情報交換を行います。

情報交換会には、管理組合の理事長、もしくは理事会等が承認した所有者、居住者が参加できます。

□事業規模

情報交換会予定件数	第4期実績	達成率
6回	6回（103名参加）	100%

[決算額] 186,525 円（当初予算 166 千円）

[第4期実施状況]

情報交換会を偶数月に開催し、区や関係団体等からの情報提供と理事長など参加者同士の意見交換を行いました。第4期の概要は下記のとおりです。

日付（参加者数）主な議題	主な内容
6月18日（14名） 第4期事業計画	千代田区介護予防事業案内、区省エネ事業、民泊調査、マンション生活冊子の配布など
8月20日（19名） 民泊調査概要	千代田区広報紙配布協力、マンション管理セミナー、マンション総合保険など
10月22日（13名） マンション管理セミナー	防災とコミュニティなどマンション管理セミナーのパネルディスカッション内容について
12月17日（20名） 石川区長との意見交換	千代田区子育て応援見守り隊、熊本地震のミニ講演会、電線地中化進捗状況、地区計画等
2月25日（22名） マンション保険	マンション瑕疵保証保険、マンションドクター保険、保険の一括見積もり説明と質疑応答
4月15日（15名） コミュニティの活性化	東京都マンション管理ガイドラインの改定、区の地域コミュニティ醸成支援事業について

[評価等]

参加者からは「他のマンションと情報交換ができて、とても参考になるし、まちみらい千代田等からの情報提供は大変有意義だ。」との評価を得ています。

平成29年4月1日現在、区内の分譲マンションは約450棟存在しますが、会員数は93棟です。今後も機会あるごとに連絡会加入を促して、より多くの管理組合の皆さんに情報交換会へ参加いただき、事業展開の糧としていきます。

e) マンション・カフェの開催

□事業内容

マンション居住者同士や地域住民との交流の場として、第2期から区のコミュニティ総務課及びまちみらい千代田の主催で「ちよだマンション・カフェ」を開催してきました。しかし、本来の事業目的であるマンション居住者の参加者が少ない状況等から、マンション・カフェの運営手法等について、区コミュニティ総務課と協議・検討した結果、参加者同士の継続的な交流をより一層深め、マンション・コミュニティの醸成を図るため、民主導によるマンション・カフェの実施をめざします。

□事業規模

開催予定件数	第4期実績	達成率
6回	20回（478名参加）	333.3%
①番町麹町地区三菱地所マンションイベント 35名		
②-1 文人通りギャラリーカフェ 計8回 168名 8/28 20名、9/25 14名、10/30 38名、11/27 17名、 12/25 33名、1/22 11名、2/19 11名、3/19 24名		
②-2 内神田を面白がる会 計6回 177名 9/4 12名、10/12 33名、11/13 13名、12/7 36名、 2/15 46名、3/15 37名		
③マンション管理講座 計4回 38名 9/7 8名、11/16 10名、1/25 10名、3/15 10名		
④マンション管理セミナー 10/29 約60名		

[決算額] 0円（当初予算 1,126千円）

[第4期実施状況]

新たな運営手法のマンションカフェを開催、20回478名の参加を得ました。

- ①デベロッパーの主催で、マンション内やマンション同士及び地域との交流を目的とした防災講座とまち歩きイベントを実施して35名の参加でした。
- ②千代田まちづくりサポート事業を活用した2事業（文人通りギャラリーカフェ・内神田を面白がる会）を定期開催して、14回345名の参加でした。
- ③管理組合役員等が参加対象のマンション管理講座で講義開始前に受講者同士のコミュニケーションタイムを設け互いの課題を話し合い計38名の参加でした。
- ④マンション管理セミナーでは講演会に引き続き、マンション管理組合理事長の代表によるパネルディスカッションを開催し全体で約60名の参加でした。

[評価等]区と協働し、新たな運営手法のマンションカフェを開催していきます。

f) マンション・コミュニティ構築支援（拡充）

□事業内容

マンションの維持管理や防災対策、管理組合活動などを円滑に進めることができるよう、その前提になるコミュニティ形成に関する活動などの支援を行っていきます。

第4期では、多額のイベント費用がかかるとし、要望の多かった大規模マンションへの割増として、概ね100戸以上を対象に5割増加算します。

（助成内容：対象経費の1/2、上限は地域協働3万円、マンション内2万円、対象はマンション連絡会会員・防災計画策定マンション）

□事業規模

項目	助成予定件数	第4期実績	達成率
地域協働オープン開催	4件	0件	0%
マンション内限定開催	2件	1件	50%
概ね100戸以上のマンション（地域協働）	2件	4件	200%

〔決算額〕 185,500 円（当初予算 250 千円）

〔第4期実施状況〕

マンション連絡会や管理会社との連絡会の場を活用して事業周知した結果、マンション近隣の地域協働としてオープン開催した概ね100戸以上のマンション4件と、マンション内に限定開催した1件について助成しました。

〔評価等〕

助成を受けた管理組合からは、「助成金がとても助かるし、より多くの事業経費に充てられるので、定期的開催できる。」等との評価を得ています。

助成件数が少ないのは、イベントを実施するマンションが少ないことによるものと推測されます。防災訓練の推奨など支援内容等を工夫検討していきます。

g) コミュニティ・イベントへの参加（拡充）

□事業内容

区で実施しているイベント「福祉まつり」、「くらしの広場」に参加し、まちみらい千代田が実施している事業等を周知するとともに、マンション管理士による相談等を実施します。

また、町会等が実施する地域のイベントにまちみらい千代田のブースを設けるなどして参加します。新たにイベント実施時に機材を貸し出します。

□事業規模

- ① 福祉まつり 平成29年3月19日 区民ホール・かかやきプラザ
まちみらい千代田の事業周知とともに、グッズ200個を配布しました。
- ② くらしの広場 平成28年11月9日 区民ホール
まちみらい千代田の事業等を周知しました。
⇒ クイズラリーの問題「マンション相談といえば？」
回答「まちみらい千代田」とし、グッズ240個を配布・周知しました。
- ③ 地域町会等のイベント 平成28年8月、11月
町会等のイベントにまちみらい千代田の事業等を周知しました。
⇒ 8月5日 日テレ通り盆踊り グッズ240個を配布・周知しました。
同26日 日比谷公園盆踊り 事業周知チラシを配布しました。
11月3日 外神田五軒町町会ファミリー会 アーツ千代田3331
「マンション相談は、まちみらい千代田」を貼付した景品を提供しました。
- ④ グッズの作成 平成28年12月
各種イベントへの参加者や調査等の際の協力者等に配布するもので、まちみらい千代田をPRするため、名入りLEDライト千個作製しました。

[決算額] 352,714 円（当初予算 610 千円）

[第4期実施状況]

イベントに参加することにより、まちみらい千代田が実施している事業等を周知するとともに、マンション居住者が参加しやすい環境をつくり、町会とマンション居住者のコミュニティづくりの一助になることを目的にしています。

また、まちみらい千代田をより多くの人に知ってもらうため、イベント等で配布するグッズを新たに作成して周知活動に利用しました。

[評価等]

各イベントの来場者に、まちみらい千代田のことを知ってもらうことができました。また、グッズについてはどの会場でも実用的だと好評でした。

マンション居住者をイベントでの参加者としてだけでなく、主体者としての活動ができるよう、例えばブース内での協働活動を進めていきます。

3 建物維持・整備支援

a) 劣化診断等調査費助成（拡充）

□事業内容

マンションの長期修繕計画の作成や大規模修繕工事を行う際には、事前に建物の現状把握のために劣化診断調査を行う必要があります。

また、新たに簡易耐震診断への助成をします。

- ①劣化診断調査のみ 対象経費の 1/2、上限 50 万円
- ②劣化診断調査と長期修繕計画作成 対象経費の 1/2、上限 80 万円
- ③簡易耐震診断 対象経費の 1/2、上限 20 万円

□事業規模

助成予定件数（※）	第4期実績	達成率
9件	劣化診断3件	33.3%

※①劣化診断2件、②長期修繕計画2件、③簡易耐震診断5件

[決算額] 1,171,000 円（当初予算 3,600 千円）

[第4期実施状況]

3件については、建物の劣化診断調査のみの助成で、それぞれの助成額は、46万円、35万円、37万円です。

大規模修繕工事・長期修繕計画作成等について、窓口や電話での相談の際やアドバイザー派遣の際に、事前調査として建物の劣化診断調査の必要性や当該制度の活用について説明しました。

[評価等]

助成を利用した管理組合からは、この制度があることを知り、早期に劣化診断調査をしようと決断したなど、事業の目的であるマンション再生の促進にかなう評価を得ています。

引き続き、大規模修繕工事の前だけではなく、長期修繕計画の見直しや作成、簡易耐震診断の際にも、当該制度を活用できることなどを周知し、既存のマンションを良好に保てるよう支援を続けます。

b) 建替え等検討調査費助成

□事業内容

築後 30 年を経過したマンションで、建替えを検討する際や大規模修繕を進める際の事前検討費用やコンサルタント費用等の一部を助成します。

(助成内容：対象経費の 1/3、上限 100 万円)

□事業規模

助成予定件数	第 4 期実績	達成率
1 件	0 件	0 %

[決算額] 0 円 (当初予算 1,000 千円)

[第 4 期実施状況]

マンションの建替え相談や大規模修繕の相談で窓口へ来られたマンションの役員に対して、当該制度を詳しく説明し、活用を働きかけてきました。

しかし、理事会での検討や管理組合での合意形成等に時間を要することから短期間で助成する状況には至っていません。

[評価等]

千代田区では高経年マンションが増えてきているため、当該支援制度の需要は増えていくと考えられますが、制度名等に「建替え」という文言を使用していることから、申請を躊躇する管理組合も多いと思われます。

今後は、名称をはじめとして制度自体を見直し、活用しやすい制度へと改正して建物の再生を促進していきます。

(第 5 期で名称を「マンション再生方針検討助成」に変更しました。)

c) 大規模修繕工事債務保証料助成

□事業内容

住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）の共用部リフォーム融資を受け、（公財）マンション管理センターに債務保証を委託した際に、かかる手数料の一部を助成しています。

（助成内容：対象経費の 1/2、上限 50 万円）

□事業規模

助成予定件数	第4期実績	達成率
2件	1件	50%

〔決算額〕 81,000 円（当初予算 1,000 千円）

〔第4期実施状況〕

「住宅金融支援機構」や「マンション管理センター」の制度を活用した助成制度です。両団体とは日頃から連絡調整を行っています。

第4期実績の助成対象は、外壁塗装等の大規模修繕工事です。融資額自体が少なく、債務保証料も少なかったため、助成額は少額でした。

〔評価等〕

助成を利用した管理組合からは、「助成は少額ではあったが、この制度を知り利用できて良かった。」との好評を得られました。

大規模修繕工事の際に修繕積立金や一時徴収金だけでなく、共用部リフォーム融資を受けるマンションは少ないことから、これまで年間 1 件から 2 件の助成にとどまっていますが、高経年マンションが多い状況から、修繕などが必須になるため、今後の助成件数は増加が見込まれます。

引き続き、広報紙やホームページなどに掲載するとともに、窓口相談やアドバイザー派遣の際にも事業を説明するなどして周知に努めていきます。

d) 再開発・共同建築等推進組織に対する助成

□事業内容

住宅を含む再開発や共同建て替え、マンション単棟の建て替えを行う団体に対し、平成 10 年からその活動費用の一部を助成しています。

(対象経費の 1/2、上限は再開発・共同建替 50 万円、単棟建替 30 万円)

□事業規模

助成項目	助成予定件数	第4期実績	達成率
再開発・共同建替	1 件	0 件	0%
マンション単棟建替	2 件	1 件	50%

[決算額] 300,000 円 (当初予算 1,100 千円)

[第4期実施状況]

アドバイザー派遣などで支援してきた麴町地域のマンションが、単棟での建て替え検討組織を立ち上げて、その活動に対して 1 件助成しました。

また、マンションの建て替えや大規模修繕についての相談者や、マンションの役員などに対して、当該制度を詳しく説明して活用の働きかけをしました。

一方、神田地域においては、申請には至りませんが、再開発に向けた相談がありました。

[評価等]

これまでも活動助成に対しては評価が高いのですが、相談にとどまる場合が多い状況です。相談事例の進捗状況を注視して適切な助言をしていきます。

今後、千代田区の地域特性や「マンションの建替え等の円滑化に関する法律」改正により再開発・共同化・建て替え等は年々増えていくことが想定されます。窓口相談だけでなく、まちづくりアドバイザー派遣の際にも詳しく説明しこの制度の活用を働きかけていきます。

さらに制度の見直し等を行い、活用しやすくわかりやすい制度へと改正します。(第5期でマンション単棟建替を「マンション再生計画検討助成」に移行しました。)

e) 安全・安心整備助成（拡充）

□事業内容

共用階段や階段からの避難経路上の「手すり設置」や「段差解消」に関する工事を行う場合や、エレベーターの「地震時管制運転装置」・「戸開走行保護装置」が設置されていない場合及びエレベーターのリニューアル時に2装置と自動着床装置を設置する際に、その費用の一部を助成します。

（対象経費の1/3、上限金額は手すり設置または段差解消100万円、地震時管制装置30万円、戸開走行装置30万円、EV更新80万円）

また、防犯カメラの設置について助成をします。

（分譲マンションを対象に経費の1/2、上限金額は30万円）

□事業規模

助成項目	助成予定件数	第4期実績・額	達成率
手すり設置又は段差解消	2棟	2棟 26万円 16万円	100%
地震時管制運転装置	2基	1基 4万円	50%
戸開走行保護装置	2基	0基	0%
上記2装置を含むEV更新	2基	2基 80万円 80万円	100%
防犯カメラの設置（分譲）	4棟	1棟 7万円	25%

〔決算額〕 2,137,000 円（当初予算額 6,000 千円）

〔第4期実施状況〕

千代田区建築指導課で実施していた制度ですが、第4期からは、まちみらい千代田の事業としています。さらに助成項目等を見直しして、エレベーターのリニューアル助成、防犯カメラの設置費助成など、安全安心整備をより一層促進しています。なお、区環境政策課と連携して、エレベーターリニューアル助成に上乗せして、区の省エネ助成も受けることができます。（3月末まで）

〔評価等〕

区からまちみらい千代田に事業移管されてからは、利用しやすいと好評です。エレベーターリニューアル助成は、区環境政策課でマンションは省エネ助成の対象外としたため、今後は当該制度の助成額を引き上げることで安全・安心整備のより一層の促進を図っていきます。（第5期で省エネ助成相当額20万円）

また、制度を活用しやすくするため、対象を安全安心に資する工事としました。

4 防災対策促進支援

a) 防災計画等策定支援

□事業内容

マンションの防災計画策定を予定している管理組合に対して、防災アドバイザーの派遣を行い、そのマンションの実態に即した計画策定の支援を行います。また、防災計画の策定に関連してマンション内の自主防災組織の立ち上げや防災訓練の実施についてもお手伝いします。

□事業規模

防災アドバイザー派遣 予定件数	第4期実績	達成率
200回（100棟）	8回（6棟）	4%（6%）

〔決算額〕 120,000 円（当初予算 3,041 千円）

〔第4期実施状況〕

まちみらい千代田の持つマンションへのノウハウを活かし、マンション防災対策の総合窓口としての機能強化を図ることから、第2期から始めた制度です。

マンションの防災計画策定は、管理組合や理事会での合意形成に時間を要し防災アドバイザーの派遣は6棟ですが、防災計画策定が助成の要件である次項の防災用品等準備助成を受けたうち、計9棟が防災計画を策定しています。

区の防災担当課より事業移管を受けた一昨年の第2期から通算して57棟のマンションに防災計画を策定することができました。また、防災訓練についてはマンション単独の実施が6回、避難所訓練が6回の計12回の支援です。

〔評価等〕

これまでに支援を受けた管理組合では、防災計画の重要性が認識され、定期的に防災訓練を実施しているマンションもあります。また、防災計画が未策定のマンションに対しては、今後も防災アドバイザーの活用を促すなど積極的に働きかけていきます。さらに、防災計画策定支援パンフレット等を活用して、個別にマンションを訪問するなど周知を強化していきます。

その際は、防災計画策定の必要性を説明するほか、まずは防災用品等の準備助成を受けることなど、防災計画策定につながる支援をしていきます。さらに、防災計画策定後には防災訓練の実施を働きかけていきます。

ｂ）防災用品等準備助成（拡充）

防災計画を策定している又は検討している管理組合に対して、EV キャビネットの配付、AED の設置並びに災害用資器材等の購入費を助成します。

□事業内容

（１）EV キャビネットの配付

エレベーターでの閉じ込めの際、救助までの間に必要な物資を入れたキャビネットを配付します。

（２）AED の設置

マンション内だけでなく近隣地域で利用できる AED をマンションに設置する場合、AED と収納ボックスを無償提供します。

（３）災害用資器材等購入費助成

災害発生時に必要となる窓・ドアの破壊器具（バールやハンマー等）や避難器具、発電機や非常用テント等の資器材の購入、また、水や非常食、携帯トイレ等の備蓄物資の購入費用の一部を助成します。

（助成内容：経費の1/2で上限額は、分譲15万円、賃貸10万円、また、新規助成の分譲は経費の2/3で上限額は20万円）

□事業規模

項目	予定件数	第4期実績	達成率
EV キャビネットの配付	20台	3台	15%
AED の設置	25台	9台	36%
災害用資器材等購入費助成	新規10件 更新 6件	7件 0件	43.8%

〔決算額〕 2,627,788 円（当初予算 5,839 千円）

〔第4期実施状況〕

防災用品等準備助成については、問合せ等が多くあるにもかかわらず、管理組合・理事会での合意形成が必要になることから時間を要す案件となり、管理組合や理事会での検討に留まっている場合が多いようです。

〔評価等〕

この助成を利用した管理組合からは、「本来は自前で用意するところ多くの部分をまかなえるので有効活用したい。」など高い評価を得ています。

今後も各種助成制度について、広報紙やチラシ、ホームページなどで周知を強化していきます。助成制度の活用を希望するマンションでは、防災計画策定と一体的な事業であることから、計画策定を最優先とし、各マンションに対し、マンション管理士と職員が個別訪問する等して周知を強化していきます。

c) エレベーター閉じ込め救出訓練支援（新規）

□事業内容

首都直下地震発生が危惧される現在、発災時はマンションのエレベーターが停止されることが予想され、その際には閉じ込めが懸念されています。

長時間の閉じ込めが発生した緊急時に備えるため、マンション居住者自らが救出できるよう、エレベーター救出訓練を実施し、その費用を助成します。

第4期では試行的に実施することとし、その効果と安全性を検証します。

□事業規模

訓練予定件数	第4期実績	達成率
3件	1件	33.3%

[決算額] 216,000 円（当初予算 600 千円）

[第4期実施状況]

第3期の3月にプレ実施したマンションの訓練参加者からは、不安解消に役立つなどと大変好評でした。

第4期も引き続き試行事業のため、マンション連絡会などを活用し訓練実施の働きかけをし、その結果、訓練実施を検討したマンションが数棟ありました。

マンション管理組合理事長と訓練事業者のエレベーター保守会社と日程等について調整して、平成29年5月に1棟が実施しました。訓練参加者からは前回と同様とても好評価な感想を得ることができました。

[評価等]

大規模災害では同時多発的なエレベーター閉じ込めが想定されます。千代田区内には重要施設が多くあり、エレベーター保守会社や消防署などの出動はそれらが優先され、マンションの閉じ込め救出は長時間を要す恐れがあります。

そうした方が一の場合に備え住民自らが協助力を発揮し、閉じ込められた人を救出できれば安心です。また、訓練をすることにより、住民相互の信頼も深まり、ひいてはマンション内のコミュニティ醸成も図られます。

訓練は事前に十分説明を受け、専門家のアドバイスを受けながら実施します。

今後は、訓練実施を検討中のマンションの実施に向けて調整するとともに、今までの実施状況を基に事業を検証していきます。

Ⅱ 借上型区民住宅の管理運営

借上型区民住宅は、民間の地権者が建設した集合住宅を一定の期間、まちみらい千代田が一括して借り上げ、所得が一定基準の範囲内にある中堅所得層の世帯を対象にして賃貸する公的な住宅です。

入居者には、世帯の所得に応じて家賃の一部助成があり、家賃負担を軽減するよう配慮されています。家賃（入居者負担額）・共益費・敷金を除いて、礼金、手数料、更新料などの負担はありません。

借上期間満了の時期も迫っていますが、区と連携し、入居者の生活基盤である住宅の適切な管理運営に努めていきます。

〔第4期実施状況〕

借上型区民住宅10棟のうち区単独型6棟については、借上期間が満了しました。また、平成30年度までに借上期間満了を迎える特優賃型2棟（テルセーロ三鈴、パリセイド東神田）の入居者に対しては、説明会を実施しました。

居住者には、住替え助成金50万円の支給や家賃（入居者負担額）の急激な上昇を10年間10%ずつに緩和する負担軽減措置による家賃助成など、区が新たな制度を創設し引き続き支援します。

一方、住宅所有者とは、それぞれ借上住宅の管理運営事務の引き継ぎを行うとともに、区や関係者と連携し円滑に引き継ぎができるよう進めています。

〔評価等〕

入居者によって家族構成、所得等が違うため、個別相談が増えることが想定されます。区の方針に基づき、各入居者の状況に応じた対応を行っていきます。

借上型区民住宅の募集は、区が管理する区民住宅とあわせ原則年2回、6月と11月に行います。入居者との契約形態は2年間の定期借家契約となります。

■借上型区民住宅一覧（職員住宅は戸数に含んでいません）

	建物名称（借上期限満了日）	住所	戸数	戸数計
区 単 独 型 93 戸	クリダイヤモンド（平成28年6月11日満了）	神田佐久間町3-37	14	152
	グリーンハイツ富士見（平成28年9月25日満了）	富士見1-2-19	23	
	ブルミエール一番町（平成29年2月24日満了）	一番町4	15	
	センチュリーハウス21（平成29年2月28日満了）	神田司町2-5	16	
	鈴重東神田コート（平成29年4月10日満了）	東神田1-5-4	14	
	神田ハイム（平成29年5月20日満了）	外神田6-6-6	11	
特 優 賃 型 59 戸	テルセーロ三鈴（平成30年5月26日）	岩本町1-12-7	14	152
	パリセイド東神田（平成30年8月3日）	東神田3-2-1	16	
	コンフォートタカシマ（平成31年5月31日）	岩本町1-2-16	12	
	SHフラット（平成32年8月31日）	神田和泉町1	17	

■面積、間取り（戸数の上段は特優賃型住宅のみ、下段は区単独型住宅も含む）

面積			間取り		
2DK	0戸	0%	50㎡未満	0戸	0%
	75戸	49.3%		6戸	3.9%
2LDK	40戸	67.8%	50㎡以上～55㎡未満	0戸	0%
	46戸	30.3%		20戸	13.2%
3LDK	19戸	32.2%	55㎡以上～60㎡未満	25戸	42.4%
	31戸	20.4%		60戸	39.5%
			60㎡以上～65㎡未満	15戸	25.4%
				30戸	19.7%
			65㎡以上～70㎡未満	0戸	0%
				9戸	5.9%
計			70㎡以上	19戸	32.2%
				27戸	17.8%
計	59戸	100.0%	計	59戸	100%
	152戸			152戸	

「家賃助成」は、借上契約の期間満了後も住宅所有者等との間で新たな賃貸借契約を締結し、同じ住戸に引き続き居住する場合に、家賃助成を支給し、家賃負担額の急激な上昇を防ぎながら居住を支援するものです。

対象世帯	○借上契約期間中から借上型区民住宅に居住していた世帯である。 ○借上契約の期間満了後も住宅所有者等との間で新たな賃貸借契約を締結し、同じ住戸に引き続き居住する。
助成額	・ 借上契約終了から1年間の助成額（月額） ＝ 新たな契約家賃 － 借上契約の期間満了時点の入居者負担額 ・ 借上契約終了から2年目以降の助成額（月額） ＝ 新たな契約家賃 － （前年同月の入居者負担額×1.1）
備考	・ 助成額は、原則、借上契約期間中の家賃減額補助額を上限とし、100円未満切捨てとする。 ・ 助成期間は借上契約の期間満了から最長10年間であり、助成額が月額1万円未満となった場合は、当該年度で助成終了とする。
助成申請	以下の書類を千代田区住宅課にご提出ください。 (1)家賃助成申請書（区指定様式） (2)住宅所有者等との間で新たに締結した賃貸借契約書（コピー） (3)助成金振込口座指定書（区指定様式）

◆家賃助成額の例（月額）

借上契約の期間満了時点の入居者負担額 10万円、新たな契約家賃 20万円の場合

借上契約 満了後	契約家賃 A	(実質的な)入居者負担額 B	家賃助成額 C=A-B
1年目	200,000円	100,000円	100,000円
2年目	200,000円	110,000円	90,000円
3年目	200,000円	121,000円	79,000円
4年目	200,000円	133,100円	66,900円
5年目	200,000円	146,400円	53,600円
6年目	200,000円	161,000円	39,000円
7年目	200,000円	177,100円	22,900円
8年目	200,000円	194,800円	5,200円
9年目	200,000円	200,000円	—
10年目	200,000円	200,000円	—

a) 区単独型住宅の管理運営

□事業内容

- ① 退去管理
- ② 家賃・共益費等の収納管理
- ③ 居室内の小修繕対応
- ④ 所得調査、世帯員変更等の入居者管理
- ⑤ 賃料・共益費の見直し
- ⑥ オーナーへの各種報告
- ⑦ 自治会の実施
- ⑧ その他住環境の良好な維持に関する業務

[決算額] 147,479,226 円 (当初予算 157,461 千円)

[第4期実施状況]

1. 退去管理 (19戸)

退去時に原状回復工事前の確認を徹底し、工事費や敷金の精算を行いました。

2. 家賃・共益費等の収納管理

月平均滞納戸数：4戸／月平均滞納額： 867,983円

(前年同期間 8戸／月平均滞納額：1,330,301円)

借上型期間満了に伴い、家賃滞納は昨年より減少しました。

3. 居室内の小修繕対応 (対応戸数：8件)

築年数経過により各戸での修繕対応が増加傾向にあり、生活にかかわる修繕もあることから、いち早く修繕対応を行いました。

4. 所得調査、世帯員変更等の入居者管理 (調査戸数：53戸)

[評価等]

第4期中に区単独型住宅6棟(93戸)すべての住宅が借上げ期間満了を迎えました。退去者の手続き等は、国や都のガイドラインを勘案しながら、契約書に基づいて処理しました。

b) 特優賃型住宅の管理運営

□事業内容

- ① 入退去管理
- ② 家賃・共益費等の収納管理
- ③ 居室内の小修繕対応
- ④ 所得調査、世帯員変更等の入居者管理
- ⑤ 建物保守管理、共用部の維持管理
- ⑥ 調査報告書等の作成
- ⑦ 賃料・共益費の見直し
- ⑧ オーナーへの各種報告
- ⑨ 自治会の実施
- ⑩ その他住環境の良好な維持に関する業務

[決算額] 163,611,427 円 (当初予算 161,893 千円)

[第4期実施状況]

1. 入退去管理 (入居：0戸) (退去：6戸)

2. 家賃・共益費等の収納管理

月平均滞納戸数：4戸／月平均滞納額：1,062,790円

(前年同期間 5戸／月平均滞納額： 704,750円)

家賃滞納額は昨年より増加しました。

3. 居室内の小修繕対応 (対応戸数：17戸)

築年数経過により各戸での修繕対応が増加傾向にあり、生活にかかわる修繕もあることから、いち早く修繕対応を行いました。

4. 所得調査、世帯員変更等の入居者管理 (調査戸数：56戸)

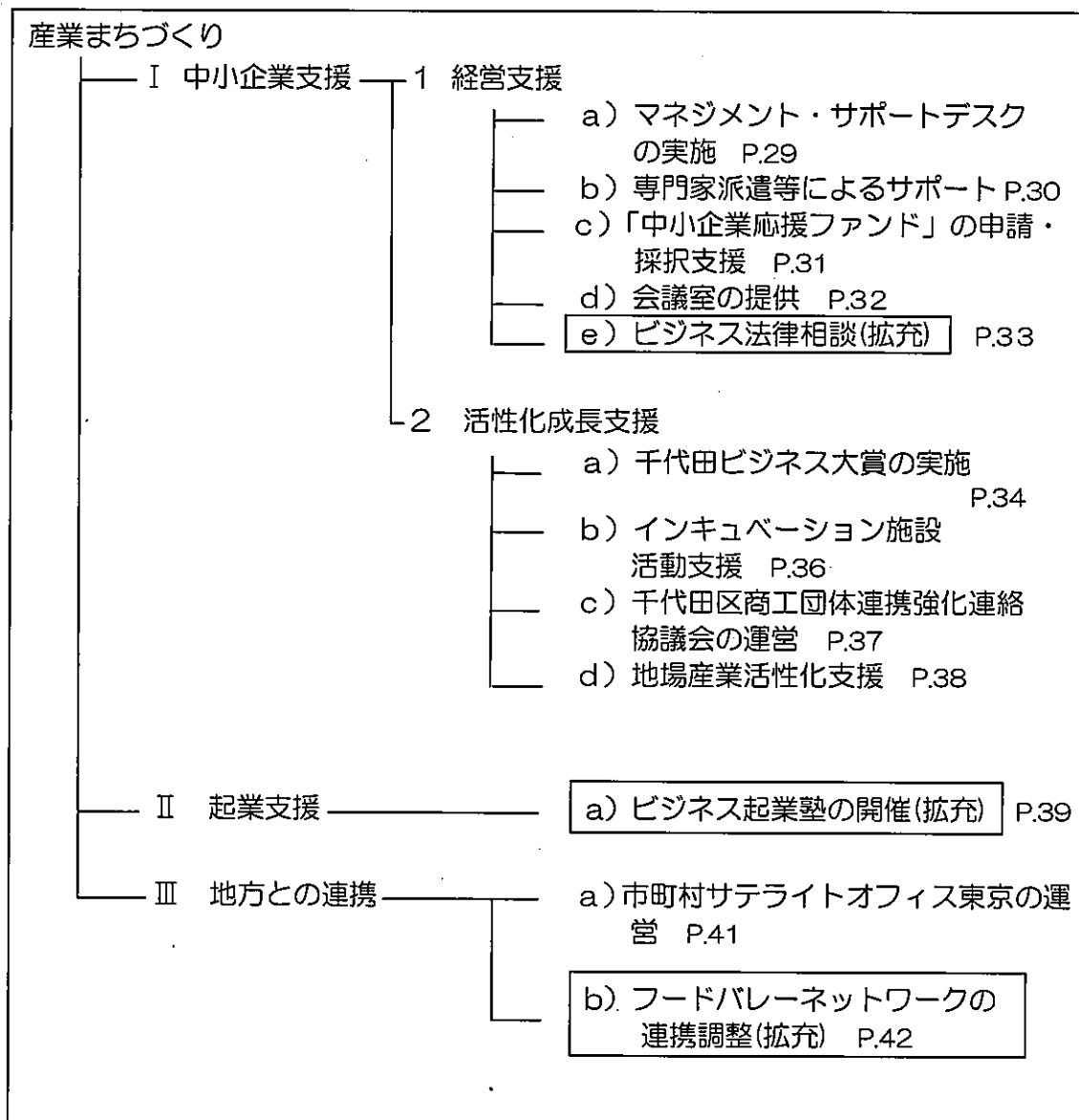
[評価等]

家賃滞納については、個別に指導して滞納額減少に努めます。また、住宅の年数経過により、建物、各設備の経年劣化が見受けられます。特に、共用部設備の不具合（雨水管のひび割れ、ドアの歪み等）の報告が、管理会社や入居者より多くなってきて、状況を住宅供給者へ報告し対応を依頼しました。入居者の生活環境を維持するうえでも、設備不具合により入居者に怪我等ないように住宅供給者、建物管理会社と協力して引き続き建物維持管理に努めます。

産業まちづくり

～地域産業の振興に向けて～

「働く」をテーマに、企業を活性化し地域社会との良好な関係作りのお手伝いをします



I 中小企業支援

1 経営支援

a) マネジメント・サポートデスクの実施

□事業内容

中小企業が抱える経営上の様々な相談を、窓口・電話・電子メールなどで受付、その相談内容に応じて、公的機関の実施している助成制度や補助金などの支援策を紹介・活用するなど、経営課題の解決に向けたサポートを実施します。

□事業規模

相談予定件数	第4期実績	達成率
40件	52件	130%

[決算額] 0円
(当初予算 32千円)

[第4期実施状況]

特定創業支援事業に関わる助成制度、起業についての相談、今後の事業展開に関する相談、ビジネス大賞への応募方法と申請書の書き方についての相談、インキュベーション施設についての相談、資金の調達方法、起業塾卒業生の相談、起業塾受講にあたっての相談など幅広い相談がありました。

[評価等]

今期は、予定件数を超える相談がありました。特に起業塾修了生からの相談、ビジネス大賞受賞企業からの相談、創業特定支援事業の相談等が多数あったことが増加の要因と思われます。

産業まちづくり事業検討会においては、本事業の見直しの検討が行われ、新たな提言等がなされました。来期以降はその検討内容を見据えながら実施に生かしていきます。

また、創業補助金取得に要する千代田区の認定において区と連携し適切に対応することができました。



b) 専門家派遣等によるサポート

□事業内容

(公財) 東京都中小企業振興公社が実施する専門家派遣事業及び(地独) 東京都立産業技術研究センターが実施する実地技術支援を受けた企業に、その利用料金の一部を助成します。これにより、各機関の支援制度の活用を促進し、企業の負担の軽減を図ります。企業がそれぞれの機関から派遣される専門家のアドバイスを受やすくすることで、企業の抱える経営上の課題や技術的な課題の解決を図ります。

□事業規模

項 目	予定件数/回数	第 4 期実績	達成率
専門家派遣	15 社/120 回	22 社/162 回	147%/135%
実地技術支援	3 社/9 回	2 社/25 回	67%/278%

[決算額]

1,870,574 円

(当初予算 1,474 千円)

[第 4 期実施状況]

専門家派遣については、今期は件数及び回数が予定件数を上回りました。公社の予算編成上、上期に募集が殺到しているため、区内中小企業へは、上期での応募を促しました。

実地技術支援については、2 社 25 回となり、予定件数は下回りましたが、回数は増加となりました。

[評価等]

東京都中小企業振興公社と連携し、千代田区内企業には公社への申請時にまちみらい千代田への申請書を直接渡してもらうことで、申請漏れを解消しています。引き続き、中小企業や団体に周知を図り、公社の予算の早期執行により申請できないことがないよう年度初めに応募するよう周知していきます。

実地技術支援については、千代田区内に生産拠点がなくにより制度を知らない企業が多く、周知活動が行き届いていないと思われます。制度の周知が産業技術研究センターにおいても行き届いていないため、周知活動に力を入れていきます。

c)「中小企業応援ファンド」の申請・採択支援

□事業内容

(公財)東京都中小企業振興公社が実施する「中小企業応援ファンド」は、東京都の都市課題の解決や地域資源の活用といった地域活性化に資するビジネスに取り組む中小企業等に助成金(助成対象経費の1/2助成、限度額800万円)の交付によって重点的に支援する事業です。

まちみらい千代田は、(公財)東京都中小企業振興公社から「地域応援ナビゲータ」の認定を受けており、応募企業に対して、事業の立ち上げから助成金採択、事業化までの継続的支援を行う職員及びまちみらい千代田が委嘱する中小企業診断士によるきめ細かな支援を行っています。

□事業規模

支援予定件数/回数	第4期実績	達成率
1件/3回	0件/0回	-

[決算額]

0円

(当初予算 1,500千円)

[第4期実施状況]

最後の募集が平成28年4月をもって終了し、10月の募集もなくなりました。

当初、1件の申請予定企業がありましたが、申請者の準備が整わず申請に至りませんでした。

[評価等]

本事業は、東京都と中小企業振興公社により10年間の期間限定の事業として実施されましたが、今後は、「地域応援ナビゲータ」の認定制度が廃止され、各企業単位での応募となり、地域資源を活用した事業のみが対象となったため、まちみらい千代田としての役割は終わりました。

d) 会議室の提供

□事業内容

用途に応じた広さの会議室や打合せ場所の少ない中小企業の実態から、ちよだプラットフォームスクウェア 4 階・5 階の会議室を、区内中小企業等に廉価で貸し出し、企業活動を補助・支援します。

□事業規模

貸出予定時間	第 4 期実績	達成率
21,000 時間	20,305 時間	96.7%

[決算額]

30,590,479 円

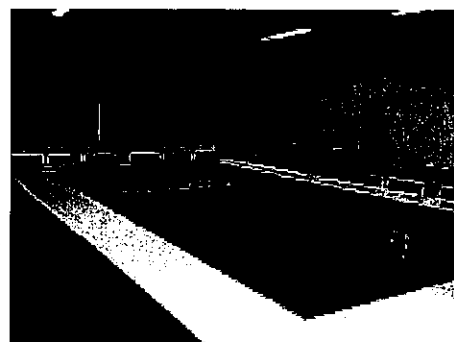
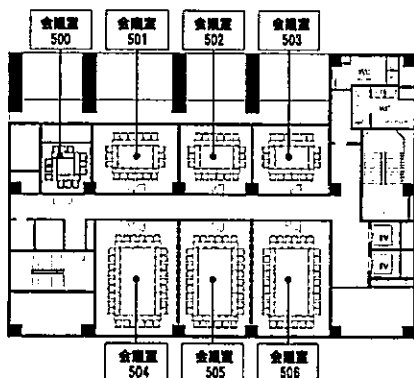
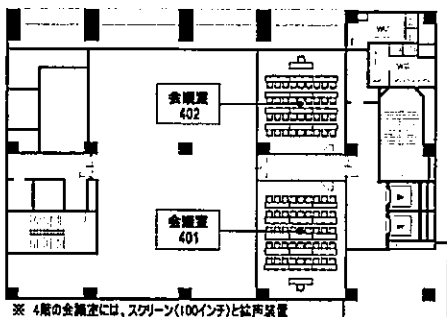
(当初予算 31,163 千円)

[第 4 期実施状況]

貸出し時間数は微減となりました。

[評価等]

運営委託会社に対しては、これまで通り利用者の立場に立った対応を行うよう求めています。



e) ビジネス法律相談（拡充）

□事業内容（新設事由）

自社内で法務担当を置くことが困難な中小企業から要望のあった、契約や労務など事業活動中に発生する様々な法的対応が必要な事例に対して、的確な対応ができるよう弁護士によるアドバイスを受けられる事業を新たに実施します。（予約制）

□事業規模

相談予定回数	第 4 期実績	達成率
12 回	8 回（7 件）	66.6%

[決算額]

152,000 円
（当初予算 229 千円）

[第 4 期実施状況]

今期は、7 件 8 回の利用がありました。

○主な相談内容

- ① 債務の不履行についての相談
- ② 契約についての相談と雇用に関する相談
- ③ 著作権侵害についての適切な対処方法

[評価等]

今期より随時受付とし利用者が希望する時間での運用に変えて実施した結果、一定の周知ができた 9 月以降 8 回の相談を受けることとなり、前年実績を上回る件数となりました。

今後も更なる周知を図り、まちみらいニュース、区内掲示板やチラシ等により区内中小企業に周知を図っていきます。区の消費生活センターと連携し、PR チラシを設置してもらうなど、PR を強化していきます。

また、平成 29 年 1 月、事務室内にプライバシーに配慮した相談室を設置しました。

2 活性化成長支援

a) 千代田ビジネス大賞の実施

□事業内容

千代田区内の様々な分野で優れた業績を上げる、中小企業の成長発展を支援する一環として、経営革新や経営基盤の強化に取り組んでいる中小企業や他の企業の模範となる優れた中小企業を「千代田ビジネス大賞」として表彰します。そしてこの表彰により、当該企業のさらなる発展のきっかけづくりを目的としています。

□事業規模

応募予定社数	第4期実績	達成率
30社	33社	110%

[決算額]

3,641,081 円
(当初予算 5,139 千円)

[第4期実施状況]

今期も応募予定社数である30社を超えることができました。区内企業が参加する展示会やイベント等におけるセールス活動及び関係団体に働きかけを行った成果が上がったものと思われます。

今回の応募企業は、例年どおり情報・IT サービス業が多かったですが、障害者を積極的に雇用し戦力化している企業や伝統工芸の職人にスポットをあてた新たな事業など特徴のある取り組みをする企業も表彰されました。

また、今回は初めてビジネス起業塾の卒業生の応募がありました。

○主な経緯

募集期間	平成28年7月20日～平成28年9月30日
実地調査	平成28年10月～12月 随時実施
審査委員会	平成29年1月9日 開催
諮問委員会	平成29年1月26日 開催
表彰式	平成29年2月17日 開催

○受賞企業

大 賞

「株式会社龍名館」

千代田区長賞

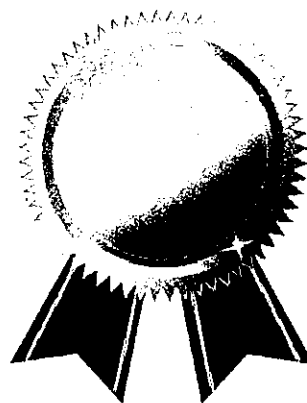
「ノーラエンジニアリング株式会社」

東京商工会議所 千代田支部会長賞

「F&MOKEI 株式会社」

東京中小企業同友会 千代田支部長賞

「有限会社アトリエ渋谷」



優秀賞

「株式会社ラポールシステム」

「株式会社ワンスイン」

特別賞

「株式会社リブリッジ」

「有限会社中むら」



〔評価等〕

目標達成については、区内企業が参加する展示会やイベント等におけるセールス活動及び関係団体に働きかけを行った成果が上がったものと思われます。

また、受賞を逃したエントリー企業に対しフォローの経営診断を募ったところ、12社から応募があり、中小企業診断士による今後の課題・改善点等のアドバイスが行われました。

今後とも事業の周知を図るとともに、大賞の価値向上に努力することで、更なる応募増を目指します。



b) インキュベーション施設活動支援

□事業内容

ちよだプラットフォームスクウェアの活用事業者であるプラットフォームサービス株式会社をはじめ、千代田区内のインキュベーション施設（SOHO 事業者・ベンチャー企業の支援施設）を運営する事業者の定期的な情報交換の場として「インキュベーション施設連絡協議会」を設け、相互の連携を深めています。

□事業規模

協議会予定回数	第 4 期実績	達成率
1 回	1 回	100%

[決算額]

39,136 円

(当初予算 67 千円)

[第 4 期実施状況]

7 施設が参加し 5 月に連絡協議会を実施しました。

各施設の現状・課題について協議が行われ、今回は、利用者との契約の形態と施設内のセキュリティについて多くの議論と意見交換がなされました。また、ベンチャーKANDA が、平成 29 年 3 月末をもって募集を終了し、インキュベーション施設の役割を終結するとの報告がありました。

○連絡協議会参加団体・施設名

「ちよだプラットフォームスクエア」	「ビジョンオフィス神田」
「一番町インキュベーションセンター」	「ナレッジソサエティ」
「クリエイターズオフィス イーブリッジ」	「ベンチャーKANDA」
「四ツ谷レンタルオフィス」	「EDITORIAL 神保町」

[評価等]

各施設は競合する関係にあります。施設の課題や悩みについて意見交換を行い、相互の関係性が構築されています。

今後も、起業家やベンチャー企業等が千代田区内に引き続き事務所を確保できるよう、入居者のニーズに合う施設を紹介・斡旋するようにしていきます。また、協議会を定期的開催することで、相互の連携を一層深めていきます。

c) 千代田区商工団体連携強化連絡協議会への参加

□事業内容

千代田区商工団体連携強化連絡協議会の事務局を運営します。協議会では、情報交換に加え、情報発信の一元化を目的とする「千代田区商工団体公式イベントナビ」の安定した運用に向けて、定期的に協議会を実施し、更なる充実に向けて協議を重ねます。

□事業規模

協議会予定回数	第4期実績	達成率
2～3回	0回	-

[決算額]

135,214 円

(当初予算 260 千円)

[第4期実施状況]

区内のイベントを総合するホームページ（HP）を運用していますが、今期は連絡協議会の開催はありませんでした。

○参加メンバー

「千代田区商店街連合会」

「千代田区商店街振興組合連合会」

「千代田区商工業連合会」

「東京中小企業家同友会千代田支部」

「東京商工会議所千代田支部」

「千代田区観光協会」

「千代田区」

「まちみらい千代田」

[評価等]

これまでは「千代田区商工団体公式イベントナビ」の立ち上げと安定運用を主な議題として会議を開催してきましたが、運用上の課題も解決されたため、しばらく開催していません。

運営主体である千代田区商店街連合会や千代田区商工業連合会等で、新たに議論すべき課題が生じた場合には、意見交換や情報共有の場として、会議を開催します。

d) 地場産業活性化支援

□事業内容

千代田区の地場産業である印刷関連産業の再生をめざして、まちみらい千代田と株式会社千代田印刷会館及びプラットフォームサービス株式会社の三者の協力によりインキュベーション施設を運営します。

この施設には、千代田区の地場産業である印刷関連産業が集積するインキュベーション施設として、印刷関連企業、メディア・映像・コンテンツ企業・情報関連企業が主に入居しています。

□事業規模

3フロアで事業を実施しています。

予定借上階	第4期実績	達成率
5・6・7階	5・6・7階	100%

[決算額]

15,030,203 円

(当初予算 14,666 千円)

[第4期実施状況]

計画通り実施しました。

*5月末現在の入居状況 16社(空室0)

[評価等]

空きビル対策のモデルケースの一つとして考えています。

Ⅱ 起業支援

a) ビジネス起業塾の開催（拡充）

□事業内容

経済社会の新陳代謝、経済への活力、新たな雇用の創出などが期待される起業を促進するため、起業を目指し、或いは起業後間もない事業者などを対象に開催します。内容は、起業に際して必要なカリキュラムとし、スムーズに起業をすることができるようになることを目的とし、修了者に対しては起業・事業展開につながるサポートを実施します。

昨今の女性の起業意欲に応えるため、女性を対象とした「女性起業家編」と、対象を限定しない「一般起業家編」の2コースに分けて実施します。

□事業規模

1 コース全 9 回 定員 20 名の講義を 1 セットとし、3 回実施します。また、修了生を対象とした専門講座を、全 3 コマと全 4 コマの 2 コースで実施します。

予定回数	第 4 期実績	達成率
女性起業家編 2 コース	2 コース	100%
一般起業家編 1 コース	1 コース	100%
専門講座 2 コース	2 コース	100%

[決算額]

2,421,739 円

(当初予算 2,600 千円)

[第 4 期実施状況]

女性起業家編（全 9 回）2 コース、一般起業家編（全 9 回）1 コース計 3 コースと専門講座財務（全 3 回）、専門講座マーケティング（全 4 回）の起業塾を開催しました。

参加者は、女性起業家編Ⅰでは 40 代・50 代の会社員が多く、主婦、アルバイト、自営等の方々に構成されました。

一般編は、40 代が半数以上と多く、また男性も半数以上の構成で、会社員の方々が大多数ではありましたが、動物病院の獣医師、司法書士、学生、シニ

アの方々にも参加いただきました。

女性起業家編Ⅱは、30代、40代が中心ですが、子育て世代の方々が多く参加され30代から50代までバランス良く受講いただきました。また、主婦の方々の参加が多かったことも特徴でした。

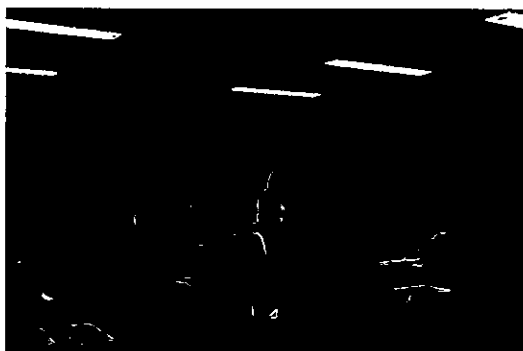
○開催日程

女性起業家編①	平成28年 6月 2日	～	平成28年 7月28日
一般起業家編	平成28年 8月17日	～	平成28年10月12日
女性起業家編②	平成28年10月21日	～	平成28年12月16日
専門講座	平成29年 1月27日	～	平成29年 3月17日

[評価等]

応募は全てのコースで定員を超え、託児サービスは、8件の利用がありました。また、マーケティングの専門講座（全4回）では、特に、プロのカメラマンによる企業PRの講義と実技、財務講座（全3回）では、会計ソフトの体験版を使用し、実際に入力した数値が決算書類となる実体験講座が大変好評でした。

受講後の受講者アンケートでは、「起業について財務・事業計画について学び自信がついた」「受講して起業に向けて背中を押してもらった」「ビジネスプランをつくるための講座があるととっても良かった」「税務の授業を組み込んで欲しかった」等、たくさんの意見をいただきました。



Ⅲ 地方との連携

a) 市町村サテライトオフィス東京の運営

□事業内容

プラットフォームスクウェア内にスペースを設け、単独では東京に拠点を設けるのが困難な地方の市町村等の活動拠点を安価に設置できるようにしています。また、各地方間の連携を図るため、利用団体間の情報交換や地域活性化のための勉強会を年 2 回開催しています。

□事業規模

項目	予定件数	第 4 期実績	達成率
入居団体	18 団体	9 団体	50%
勉強会	2 回	1 回	50%

[決算額] 167,656 円
(当初予算 121 千円)

[第 4 期実施状況]

長野県東御市雇用創造協議会・長野県飯綱町・新潟県粟島浦村の新規入居がありました。11 月に送付した利用案内が入居のきっかけで、フードバレーネットワークにも加入いただきました。

新潟県・長野県（11 月）、富山県・岐阜県（5 月）の人口 10 万人未満の市町村を対象にパンフレット等を送付し、利用促進につなげました。

フードバレーネットワーク会議も兼ねて、市町村サテライトオフィス東京の勉強会を 9 月 30 日に開催しました。

[評価等]

予算確保が困難との理由で 1 自治体の退去がありましたが、パンフレット送付によって、2 自治体の入居があり効果があったと考えます。

第 5 期もパンフレット・アンケート等の送付を行って、利用促進を図るとともに、支援方法についてもアンケートをもとに検討します。

b) ちよだフードバレーネットワークの連携調整（拡充）

□事業内容

千代田区が持つ集客力、情報発信力を活かして、「場」の提供を求める地方都市との交流を深める考えから、平成 24 年に改定された千代田区商工振興基本計画の中で「農商工連携による地方都市との交流促進」をうたっています。

このことを踏まえ、まちみらい千代田では、生産地と消費地が協力し合い、互いの地域産業振興を図ることを目的に、ちよだフードバレーネットワークの取り組みが効果的に推進できるよう調整を図ります。

□事業規模

イベント予定回数	第 4 期実績	進捗率
4～5回	7 回	140～175%

〔決算額〕 1,936,635 円
(当初予算 2,324 千円)

〔第 4 期の実施状況〕

・設立総会、勉強会（7 月 13 日）

これまで、活動の母体が明確になっていなかったため、任意団体として事業計画や規約を定め、任意団体としての「ちよだフードバレーネットワーク」の設立総会を開催し、地方自治体・団体など 35 団体に参加をしていただきました。

・ちよだフードバレーネットワーク勉強会（9 月 30 日）

「帯広屋台村から全国屋台村協議会への軌跡」と題して、全国屋台村連絡協議会の方から講演をいただきました。

・東京あじわいフェスタ 2016（10 月 7 日～9 日）

東京国際フォーラムにて実施された「東京味わいフェスタ 2016」に「ちよだフードバレーネットワーク」として参加し、多くの方々に地方物産等の PR をすることができました。

・ちよだフードバレーネットワーク勉強会（11月17日）

愛媛県西予市遊子川（ゆすかわ）のお母さん方が立ち上がり、2つのトマト商品を開発しました。食堂、映画を作り、今年、企業組合となった「ザ・リコピンス」について、映画上映と講演がありました。

・オータムマルシェ（11月18日～20日）

有楽町駅前広場において、「オータムマルシェ」として、地方物産のPRを行いました。

・区民参加型グリーンツーリズムの試行実施（3月12日）

神田一八エリア振興会、千代田区民を対象とした農業体験型バスツアーを実施しました。フードバレーネットワーク加盟地域（茨城県守谷市）を訪れることで千代田区と地域との交流を図りました。

・大槌復興支援マルシェ、スプリングマルシェ（3月24日～26日）

被災地復興支援事業として販路開拓支援を行ってきた岩手県大槌町の支援を目的に「大槌復興支援マルシェ（10店舗出店）」、そして地方との農商工連携促進を目的に「スプリングマルシェ（12店舗出店）」を開催しました。

【ちよだフードバレーネットワークの構成】

47自治体・地域（千代田区を含む）＋3団体（平成29年5月現在）

【評価等】

各イベントを通じて、出店自治体・団体の物産のアピールができました。引き続き、各自治体・団体のPRを進めるとともに、「ちよだフードバレーネットワーク」に参加していただけるよう積極的に連携を図ります。

第5期では、地方と都市を結び、双方を活性化させる人材の育成を図るために食農起業塾を開催します。また、第4期で試行実施した区民参加型グリーンツーリズムバスツアーも2回実施します。

協働まちづくり ～理解と協力のまちづくりに向けて～

「集う」をテーマに、皆で取組む魅力あるまちづくりのお手伝いをします

協働まちづくり		
I	まちづくり活動支援	a) 千代田まちづくりサポートの実施 P45 b) 区の花さくら再生基金の管理 P48
II	情報の発信と交流	a) まちみらいニュースの発行 P50 b) 事業報告・交流会の実施 P51 c) まちみらい千代田 ホームページの運用（拡充） P52
III	調査研究等の実施	a) マンション等利用実態調査（新規） P53 b) （仮称）産業まちづくり事業 検討会の設置（新規） P54

I まちづくり活動支援

a) 千代田まちづくりサポートの実施（拡充）

□事業内容

本事業は、自主的なまちづくり活動を行っている団体に対して、その活動経費の一部を助成するものです。今期は、一般部門、はじめて部門、テーマ部門に加えて、（一社）民間都市開発推進機構の助成を受け、まちづくりの拠点や歴史的都市環境の整備などに助成する、ハード部門を新設しました。

□事業規模

まちづくりサポート公開審査会	→ 平成 28 年 7 月 2 日開催
まちづくりサポート中間発表会	→ 平成 28 年 11 月 19 日開催
まちづくりサポート活動成果発表会	→ 平成 29 年 4 月 16 日開催

[決算額] 12,144,182 円
(当初予算 19,016 千円)

[第 4 期実施状況]

- ・第 3 期において募集を行い、応募申請のあった 17 グループについて、7 月 2 日（土）に公開審査会を実施し、14 グループに対して助成を決定しました。
- ・公開審査会の審査結果・内容等の概要は、千代田まちづくりサポート通信第 28 号として発行し、賛助会員・関係者等へ配付しました。
- ・中間発表会・普請部門二次審査を 11 月 19 日（土）に行い、各助成グループから、これまでの活動の報告がなされ、審査会委員から活動に対するコメントやアドバイスをいただきました。今回、新設した普請部門には、一次審査で 2 グループが通過しました。そのうち 1 グループは企画が中止となりましたが、1 グループが二次審査を通過し、500 万円を上限とする助成を決定しました。
- ・4 月 16 日（日）の活動成果発表会では、各グループの成果発表に加え、普請部門の助成額の決定を行いました。活動成果発表会の概要については、千代田まちづくりサポート通信第 29 号として発行し広く広報を行います。
- ・第 17 回千代田まちづくりサポートの事前相談を 5 月 15 日（月）から、応募受付を 5 月 22 日（月）から開始しました。

<申請グループと助成金額（総額：904 万円）>

部門	回数	団体名	申請額 (万円)	助成額 (万円)
一般	2	ユメラボ	23	0
一般	2	神保町コミュニティプラザ	50	50
一般	2	神田暮らし探検隊	22	22
一般	1	麹町小学校ワーク・わく・クラブ 応援団	20	20
一般	1	Sophia Information For Visitors	48	32
一般	1	神保町未来会議・重ね図ワーキンググループ	50	0
一般	1	PCN 秋葉原 Assemblage	35	35
一般	1	神田組	50	0
一般	1	グリーンネイバーフッド千代田を目指す会	33	33
一般	1	文人通りギャラリーカフェ	30	30
一般	1	神田プロレス	50	50
一般	1	世界に広めるらくがき PROJECT	22	22
一般	2	神保町映画祭実行委員会	50	50
テーマ	1	内神田を面白がる会	50	40
普請	1	千代田ネコビル lab	10 (一次)	10 (一次)
			— (辞退)	— (辞退)
普請	1	海老原商店を活かす会	10 (一次)	10 (一次)
			500 (二次)	500 (二次)
はじめて	1	オクトパシー	5	5

○都市ネットワーク会議への参加（10月14、15日・2月22日）

市民助成活動を行っている自治体・団体で構成されている都市ネットワーク会議に参加しました。意見交換・助成グループの紹介・まち歩きを通じて交流を深めました。まちみらい千代田の協働契約の取り組みに対して、多くの質問をいただきました。

[評価等]

活動成果発表会では、1 年間の活動成果について、各助成グループから発表していただき、まちづくり活動において大きな成果が認められました。

過去に助成を受けたグループのメンバーや審査会委員OBで構成された一般社団法人千代田まちづくりプラットフォームと協働契約を締結したことにより、企画・発表会等の運営はもとより、助成グループの相談対応や専門的知見からのアドバイスにより、質の高い事業運営を行うことができました。

今期より、まちづくりの拠点や歴史的都市環境の整備などに助成する普請部門を新設し、1 グループへ助成を決定しました。助成を受けて整備された建物は、地域の拠点となりうる建築物で地域住民の交流の場としても期待されます。

来期も引き続き、事業発展ため、一般社団法人千代田まちづくりプラットフォームと協働運営を行います。

また、第 5 期の新規事業として行う「地方における市民まちづくり活動の支援（まちづくりサポートの実施手法の提供等）」にも積極的に取り組み、地方と千代田区との連携を図ります。

b) 区の花さくら再生基金の管理

□事業内容

区の花さくらの周知活動や保全活動のための助成金となる基金の管理を行っています。

基金には「公益信託さくら基金」と「金銭信託さくら基金」の2種類があり、公益信託さくら基金は、さくらに関する普及啓発活動などに対してその活動費を助成しています。また、金銭信託さくら基金では、さくらを維持管理している団体に対して、その保全のためにかかる経費の一部を助成しています。

□実施時期

4月 助成募集
6月 運営委員会・助成決定
7月 助成金支払

□事業規模

項 目	予定件数	第4期実績	達成率
公益信託	7	6	86%
金銭信託	1	1	100%
合 計	8	7	88%

[決算額] 5,500,000 円
(当初予算 5,517 千円)

[第4期実施状況]

さくら基金運営委員会（7月27日（水）開催）で平成28年度さくら基金助成申請について、以下のとおり決定しました。

基金	申請者	助成金額（円）	内 容
金銭信託	千代田区長 石川 雅己	5,500,000	①さくら再生・更新業務（樹勢調査・剪定・伐採） ②肥料等材料費（リュウノヒゲ等の購入） ③さくら再生事業事務経費（さくら基金運営委員会事務経費）
計		5,500,000	

基金	申請者	助成金額（円）	内 容
公益信託	NPO法人 東京樹木医 プロジェクト	399,000	樹勢調査、さくらの手入れ、花 数調査等さくらのサポート活動 を小学生やさくらサポーターと 共にさくら教室を実施する。
	桜を楽しむ会	86,500	オリジナルさくら料理教室を実 施する。
	上智大学 公開学習センター	40,000	NPO法人東京樹木医プロジェ クト主催の花数調査と連動し た、さくらに因んだ講演（ミニ セミナー）1 回開催
	さくら美守り隊	150,000	募金活動、景観保全美化活動、 道案内等を実施する。
	さくらサポーター 事務局（道路公園課 長 行）	500,000	①さくらサポーターへのさくら 通信等送付（年 2 回） ②さくら基金活動の推進
	区の花さくら連絡 会事務局（道路公園 課長 行）	350,000	①区の花さくら連絡会の開催 （年 1 回） ②さくら便り、さくら通信の発 行
計		1,525,500	

[評価等]

さくらサポーター事務局（千代田区環境まちづくり部道路公園課）と連携を
図りながら、適正な事務処理、基金管理を行いました。

第 5 期でも「まちみらいニュース」や「まちみらい千代田WEBサイト」で
積極的にさくら再生のPRを行います。

Ⅱ 情報の発信と交流

a)「まちみらいニュース」の発行

□事業内容

まちみらい千代田が実施する事業などについて、千代田区内に広く情報提供するため、「まちみらいニュース」を発行します。今年度も二面構成とし、年12回、毎月20日に「広報千代田」折り込みで発行します。発行部数は、毎号50,000部です。

なお、紙面の一部を有料広告スペースとして活用し、発行コストの低減に努めます。

□事業規模

予定回数	第4期実績	達成率
12回	12回	100%

〔決算額〕 3,079,486 円
(当初予算 3,585 千円)

〔第4期実施状況〕

まちみらい千代田の主要広報媒体として、事業の紹介やまちみらい千代田自体の紹介を行いました。

記事の掲載にあたっては、まちみらい千代田の事業体系の3本柱である「住宅まちづくり」「産業まちづくり」「協働まちづくり」の事業の中でも新規・拡充事業を中心に掲載することを心がけました。

また、第3期に引き続き、読まれる広報紙をめざして、マンション管理士による、より良いマンション生活のヒントになるコラムや中小企業診断士による、これから起業する方や企業経営者にとって参考となるコラムを掲載しました。

〔評価等〕

有料広告掲載については、1件の実績にとどまりました。第5期では賛助会員を中心に、広告募集を強化します。

引き続き、まちみらい千代田自体の周知、実施事業の周知を効果的に行い、イベント等への参加者を増やせるような記事の掲載に努力していきます。

ｂ）事業報告・交流会の実施

□事業内容

まちみらい千代田の賛助会員をはじめ区民や企業等に対して、まちみらい千代田の事業内容・実施状況等の報告を行うとともに意見交換や交流を通して一層の支援をいただくほか、賛助会員の加入促進に努めます。

□内容

- ・ 第３期の事業報告
- ・ 第４期の事業計画概要
- ・ 賛助会員等との意見交換
- ・ 賛助会員の PR
- ・ 交流会 等

□会場

ちよだプラットフォームスクウェア会議室

□事業規模

予定回数	第４期実績	達成率
１回	１回	100%

[決算額] 92,594 円
(当初予算 192 千円)

[第４期実施状況]

賛助会員企業、個人の方 14 名に参加いただきました。まちみらい千代田常駐のマンション管理士から「熊本地震から学ぶマンション防災」と題した講演と参加企業から PR を行っていたいただき、終了後は、会員の皆様とまちみらい職員で懇談・意見交換で交流を図りました。

[評価等]

前回より少ない 14 名の参加となりました。第５期ではさらに多くの賛助会員の参加を得られるよう、周知を強化し、参加促進を図ります。また賛助会員がまちみらい千代田の事業に参加いただくことで、より理解していただけるよう広報していきます。事業報告会が、まちみらい千代田実施事業の理解の場、会員の皆さんの交流の場となるよう企画していきます。

c) まちみらい千代田ホームページの運用（拡充）

□事業内容

公益財団法人まちみらい千代田の公式ホームページとして、まちみらい千代田の公式情報を公開するとともに、まちみらい千代田の事業周知の有効なツールとしてホームページを運用していきます。

地域イベント情報や、まちみらいニュース掲載事項、まちみらい千代田の事業情報など、千代田区・まちみらい千代田に関連する情報を掲載し、新たな活動・生活への手かかりを提供します。

ツイッター・フェイスブック等との連携により、多くの方への情報発信をしています。

実績：内容のスマートフォンやタブレット端末対応 → 対応完了

物語りコンテンツの追加 → 4 本作成

[決算額] 3,628,152 円

(当初予算 3,787 千円)

[第 4 期実施状況]

前期までトップページだけであったスマートフォンやタブレット端末向け対応を、ほぼ全ての内容で完了しました。より読まれるホームページを目指して「物語りコンテンツ」を 4 本追加しました。

事業に関連する団体や千代田区内の NPO 法人、博物館等のイベント情報を積極的に掲載し、広く広報しました。また、ホームページ・まちみらいニュースに掲載した情報は SNS（facebook 等）を活用し、より多くの方へ情報発信を行いました。

[評価等]

第 4 期に計画していた対応は、すべて完了することができました。第 5 期も引き続き、読まれるホームページを目指して「物語りコンテンツ」の追加を行います。また、ホームページデザインに合わせた形のバナーを作成し、見やすいホームページになるよう工夫をしていきます。

ホームページと並行して、これまで以上に SNS を活用し、より鮮度の高い情報を幅広く提供していきます。

Ⅲ 調査研究等の実施

a) マンション等利用実態調査（新規）

□事業内容

区の要請を受け、良好な住環境の確保と住宅ストック活用の観点から、マンション等の利用実態調査を実施します。

□事業規模

平成28年6月から12月まで → 平成28年6月から3月まで

〔決算額〕 7,560,000 円（当初予算 6,000 千円）

〔第4期実施状況〕

区内のマンション等の住宅については、居住以外の目的で利用されたり、空室や投資用などになっている実態があります。今回、区から要請された調査内容は、いわゆる民泊などの実態調査、管理組合へのアンケート調査、タワーマンション調査など、区内のマンション等の利用実態の把握に資するものです。

区の関係各課と協議・調整のもと調査内容を精査し、調査委託する事業者と調査手法などについて検討を行い、①共同住宅実態調査の更新作業、②高経年マンションとタワーマンションの管理状況、③千代田区来訪客の動向を調査し、3月末の調査終了後に区へ報告書を提出しました。

〔評価等〕

調査の結果、①区内の分譲マンションは、第2期の調査時点の432棟から23棟増加して455棟となっていること ②区分所有者の高齢化と管理組合役員の担い手不足、コミュニティの希薄化、高経年マンションの耐震改修等が進んでいないこと ③東京2020オリンピック・パラリンピックに向け来訪客の増加傾向、特に丸の内・秋葉原地域への増加、来訪客が多国化していること等の実態が分かりました。

この調査結果を参考に今後は調査報告書を提出した関係各課において施策の検討がされていくとともに、まちみらい千代田でも事業を検討していきます。（第5期で、マンションの再生（修繕、耐震等改修、建て替え）を促進します。）

b) (仮称) 産業まちづくり事業検討会の設置 (新規)

□事業内容

今後のまちみらい千代田における産業まちづくり事業を推進するため、外部の有識者の協力をいただきながら、産業まちづくりについて、事業の見直しや新たな事業展開を検討していきます。

□事業規模

平成28年9月から平成29年3月まで

[決算額]

1,310,000 円

(当初予算 2,300 千円)

[第4期実施状況]

9月に検討会を立ち上げ、5回検討会を実施しました。第1回は、現状の事業概要の報告を受け、ブレインストーミング方式で現行事業の課題（ビジネス起業塾、ビジネス大賞、まちみらい千代田が担う調整機能、中小ビルマネジメント等）の抽出を行いました。第2回以降は、課題抽出した事業のあり方、内容等について具体的な検討を行いました。

最終回の第5回は、最終報告書の作成にあたって具体的な提言と今後の実施に向けての変更案等がまとめられ、3月末をもって報告書が完成しました。

○検討スケジュール

開催月	9月	10月	12月	1月	3月
検討会議	現状報告・課題抽出	検討	検討	検討	最終報告書作成

○構成メンバー

座長	プラットフォームサービス株式会社	会長	田邊恵一郎
副座長	公益財団法人まちみらい千代田	副理事長	鈴木 秀人
委員	千代田区役所 地域振興部 商工観光課長		中尾真理子
	(一社)ちよだ中小企業経営支援協会	理事長	山根 孝一
	株式会社 SKY	社長	上山 茂生

[評価等]

具体的な事業の見直しが行われ、変更案や新たな事業案等が取りまとめられ、来期以降の事業展開に反映していく予定です。

理事会・評議員会・監査

定款第21条及び第42条に基づき開催した評議員会及び理事会では、次のとおり各議事について、可決及び承認を得ました。また、定款第35条の規定に基づき実施された監査において、事業報告及び決算はいずれも適正と認められました。

（１）理事会の開催状況

回 数	開催年月日	番 号	件 名
第1回	平成28年 7月27日(水)	議案第1号	公益財団法人まちみらい千代田 第3期事業報告（案）について
		議案第2号	公益財団法人まちみらい千代田 第3期決算（案）について
		議案第3号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について
第2回	平成28年 12月2日(金)	議案第4号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について
		—	◎公益財団法人まちみらい千代田 第4期事業実施状況中間報告
		—	◎理事長・副理事長の職務執行状況報告
第3回	平成29年 4月1日（土） 書面決議	議案第5号	公益財団法人まちみらい千代田 事 務局長の任免について
		議案第6号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について
		議案第7号	議決日について

第4回	平成29年 4月27日(木)	議案第8号	公益財団法人まちみらい千代田 第5期事業計画(案)について
		議案第9号	公益財団法人まちみらい千代田 第5期収支予算(案)について
		議案第10号	公益財団法人まちみらい千代田 職員の 給与に関する規程の一部改正について
		議案第11号	公益財団法人まちみらい千代田 旅費に 関する規程の一部改正について
		議案第12号	公益財団法人まちみらい千代田 行政庁 へ提出する定期提出書類への項目の追加 について
		議案第13号 —	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について ◎理事長・副理事長の職務執行状況報告
第5回	平成29年 5月30日(火) 書面決議	議案第14号	公益財団法人まちみらい千代田 副理事長の選定について
		議案第15号	議決日について

(2) 評議員会の開催状況

回 数	開催年月日	番 号	件 名
第1回	平成28年 8月26日(金)	議案第1号	公益財団法人まちみらい千代田 第3期事業報告(案)について
		議案第2号	公益財団法人まちみらい千代田 第3期決算(案)について
		—	東京都立ち入り検査報告
第2回	平成28年 12月16日(金)	—	◎公益財団法人まちみらい千代田 第4期事業実施状況中間報告
第3回	平成29年 4月21日(金)	議案第3号	公益財団法人まちみらい千代田 理事の選任について
		議案第4号	公益財団法人まちみらい千代田 監事の選任について
		議案第5号	公益財団法人まちみらい千代田 役員の報酬等に関する規程改正について
第4回	平成29年 5月23日(火)	議案第6号	公益財団法人まちみらい千代田 第5期事業計画(案)について
		議案第7号	公益財団法人まちみらい千代田 第5期収支予算(案)について

(3) 監査の実施

①中間監査

実施日 平成29年1月27日(金)

場 所 公益財団法人まちみらい千代田 4階 理事長室

内 容 (1) 公益財団法人まちみらい千代田第4期事業中間報告
(2) 公益財団法人まちみらい千代田第4期中間時点での財務諸表

②決算監査

実施日 平成29年7月14日(金)

場 所 公益財団法人まちみらい千代田4階 会議室

内 容 (1) 公益財団法人まちみらい千代田第4期事業報告
(2) 公益財団法人まちみらい千代田第4期決算